



# コロナ禍 県大生に食料

## 土佐清水市 斧積の住民贈る

### 地区活性化の交流が縁

【清水】土佐清水市斧積地区の住民らがこのほど、新型コロナウイルスの影響で困窮している高知県立大学の学生を支援しようと、食料を持ち寄って集め、高知市の県大永国寺キャンパスに届けられた。

【清水】土佐清水市斧積地区の活性化などで意見を交わしてきた。

学生らはコロナ禍でアルバイトが減り、「食材の確保などに困っている」と田中教授に聞いた土佐清水市民生委員児童委員協議会の平野貴久会長（68）＝同市越前町＝が、地区に食料提供を打診。放送などで呼び掛け、11月中旬からの約2週間で米約60キやカボチャ約30個、サツマイモ約50本、野菜やカップ麺などが地区内外から寄せられた。

住民らは今月7日、車に食料を積み込み、「元気に村」を立ち上げた一人、弘田浩三さん（91）は「斧積の味がたくさん出荷」された。15年間指導してくれた先生や学生への恩返しになれば」と話していた。

斧積地区は、2005年に発足した住民グループ「元氣村斧積」が、県大社会福祉学部の田中きよむ教授（58）や学生らと交流。高齢化が進む地区

地区に食料提供を打診。放送などで呼び掛け、11月中旬からの約2週間で米約60キやカボチャ約30個、サツマイモ約50本、野菜やカップ麺などが地

食料は8日、県大に届けられた。田中教授は「学生もとても喜ぶと思う」と感謝し、平野さんは「斧積をきっかけに、学生への支援が県内で広がってほしい」と期待していた。（山崎彩加）